

■ 平成18年度 入間市水道事業報告(総括事項) ■

● 業務概況 ●

本年度は、比較的降雨に恵まれたため、年間を通して安定給水を図ることができました。

年度末における給水戸数は60,188戸、給水人口は149,700人となり、総給水量は、18,174,788^mで、前年度に比べ2,994^m(0.2%)の増加となりました。有収水量は、16,857,349^mで、前年度に比べ109,201^m(0.64%)増加し、有収率は、92.75%となりました。

● 収益的収入・支出 ●

財政状況については、事業収益が3,205,595,342円(税抜額2,993,373,086円)で予算現額3,225,466,000円に対して99.38%の執行率となりました。

このうち水道事業の主財源となる給水収益は、2,842,795,305円(税抜額2,707,487,330円)と前年度に比べ26,005,651(税抜額24,766,790円)の減となりました。

一方、事業費用については、2,843,332,823円(税抜額2,765,981,398円)で予算現額2,909,681,000円に対し97.2%の執行率となりました。

以上の結果、当年度純利益として227,391,688円を計上することができました。

● 資本的収入・支出 ●

建設改良工事を主な目的とする資本的収入・支出予算では、配水管の新設及び公共関連事業に伴う配水管布設替え等の工事を実施し、また、第四期拡張事業の主要事業で継続事業として実施してきた鍵山浄水場改築工事及び中央監視制御設備等設置工事が完了しました。なお、東金子配水場は改修工事は継続事業として実施中です。

執行状況については、収入額が772,737,987円で、予算現額791,591,000円に対して97.62%の執行率となりました。このうち主なものは、鍵山浄水場改築工事の財源である企業債400,000,000円及び国庫補助金192,579,000円であります。

また、支出額は、3,454,891,108円で予算現額3,751,665,150円に対して92.09%の執行率となりました。

なお、資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等2,682,153,121円で補てんしました。

本年度予定した事業については概ね順調に進捗いたしました。一部の工事等については、公共関連工事の影響により年度内に完成することができず、繰越措置を行いました。

■ 給水人口と年間総配水量 ■

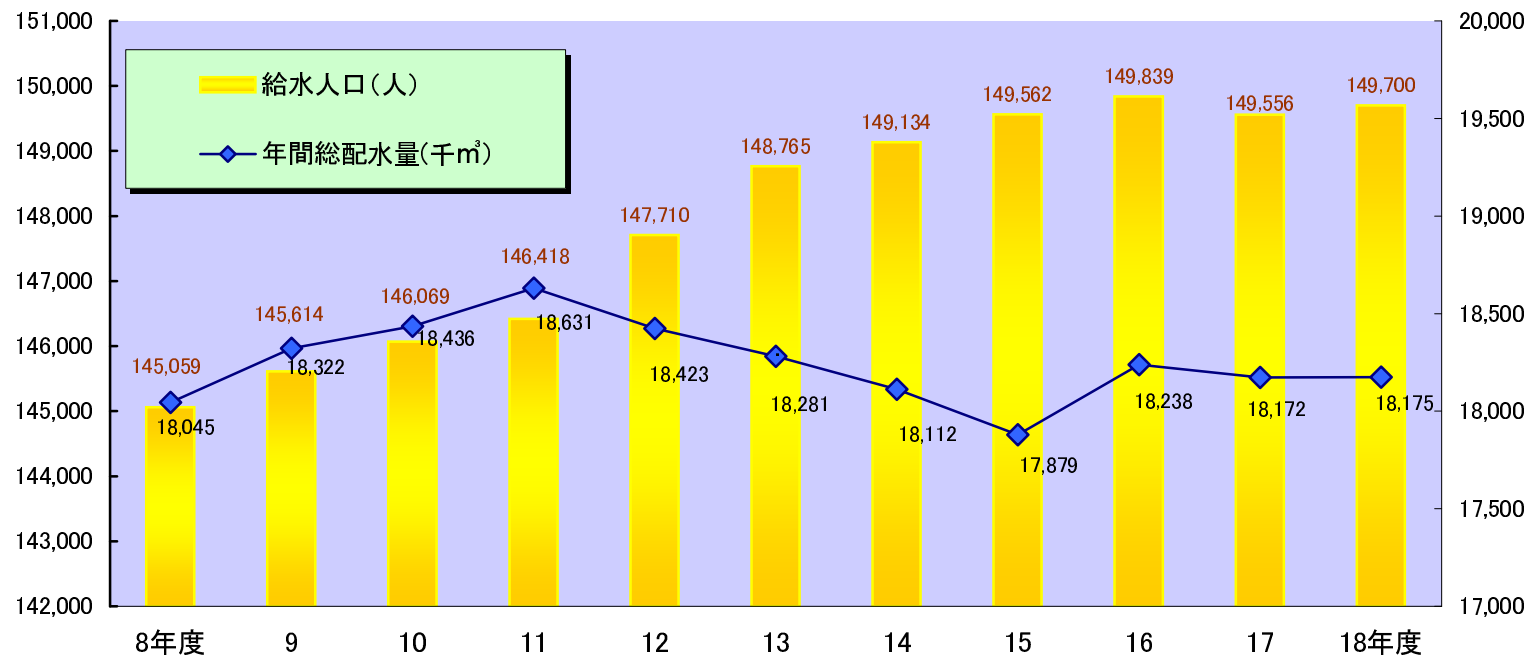
● 給水人口とは・・・ ●

給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口をいいます。

● 年間総配水量とは・・・ ●

水道部の配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量をいいます。

給水人口と年間総配水量の推移



■ 年間総配水量・年間有収水量・有収率 ■

● 年間総配水量とは・・・●

水道部の配水場や浄水場から送り出された水道水の全水量をあらわしています。

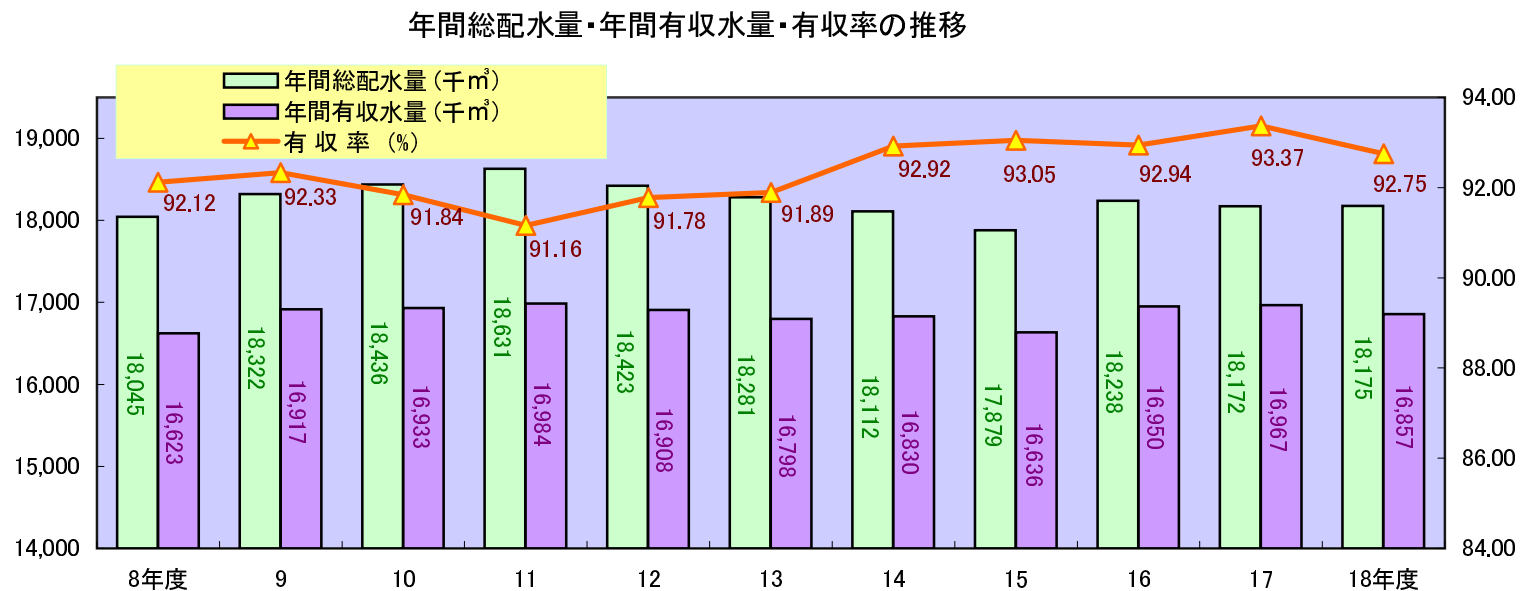
● 年間有収水量とは・・・●

お客様のご家庭や工場で使用され、料金収入を得ることのできた水量をあらわしています。
料金収入にならないものを無収水量といい、漏水や水道事業用に使われた水などが該当します。

● 有収率とは・・・●

有収率 = 有収水量 ÷ 年間総配水量 × 100

水道水全体のうち、有収水量の率をあらわすものです。



■ 給水原価と供給単価 ■

● 給水原価とは・・・●

お客様にお届けする水道水1m³あたりについて、どれだけ費用がかかっているかを表しています。

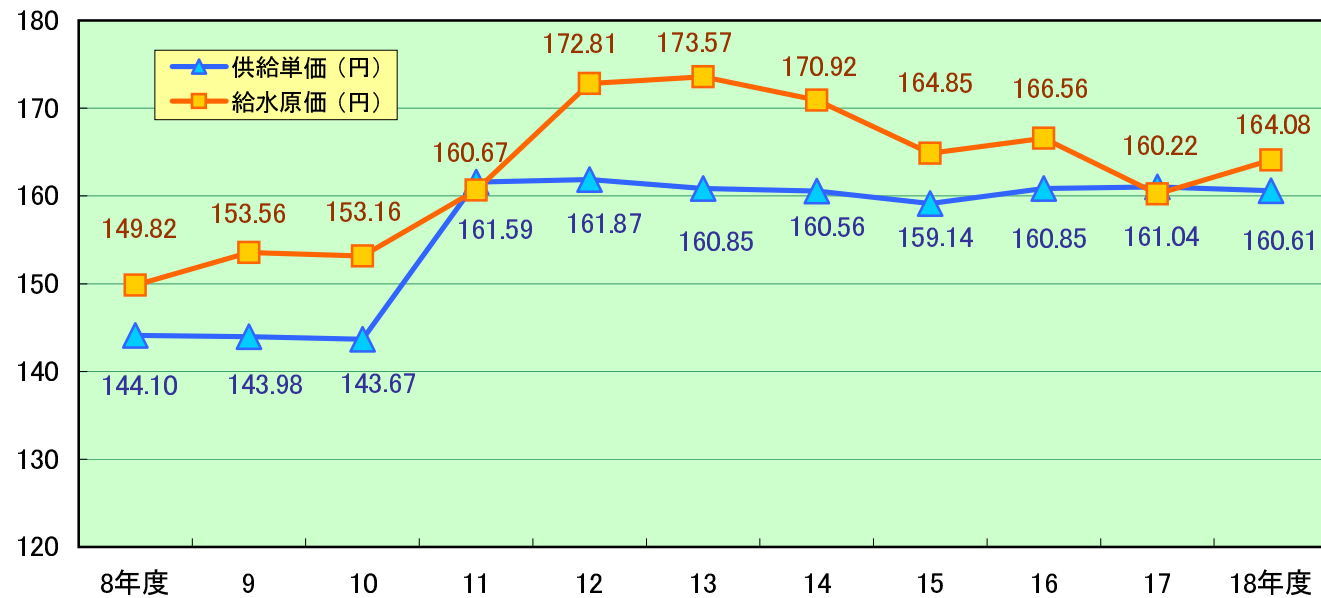
給水原価 = 総費用 ÷ 年間総有収水量

● 供給単価とは・・・●

お客様にお届けした水道水1m³あたりについて、どれだけ収益を得ているかを表しています。

供給単価 = 給水収益 ÷ 年間総有収水量

給水原価と供給単価の推移



■ 給水契約数(口径別) ■

● 口径 13mm と 20mm の給水契約数の推移 ●

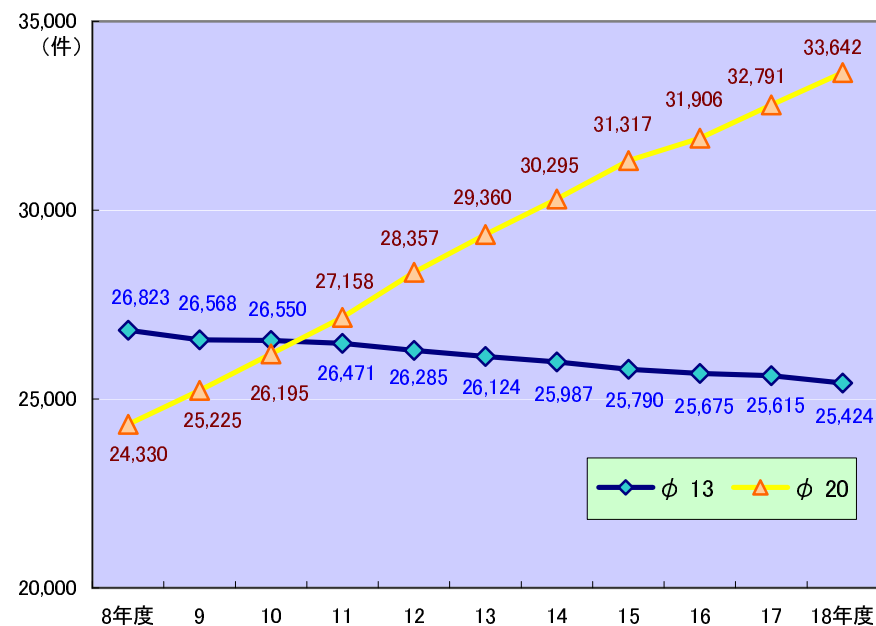
一般家庭が主に使用している量水器の口径は、13mmと20mmです。
最近では20mmの契約者が増加傾向にあります。

口径別給水契約数

(単位:件)

	8年度	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18年度
φ 13	26,823	26,568	26,550	26,471	26,285	26,124	25,987	25,790	25,675	25,615	25,424
φ 20	24,330	25,225	26,195	27,158	28,357	29,360	30,295	31,317	31,906	32,791	33,642
φ 25	590	613	632	635	634	649	656	666	689	701	708
φ 30	96	96	95	102	103	108	112	114	119	126	131
φ 40	104	109	112	106	108	111	109	111	123	132	139
φ 50	51	48	47	44	42	47	47	48	51	52	52
φ 75	76	73	74	74	75	74	73	73	74	74	73
φ 100	11	11	11	11	11	11	11	10	10	9	8
その他	48	34	31	33	34	21	29	18	17	19	11
合計	52,129	52,777	53,747	54,634	55,649	56,505	57,319	58,147	58,664	59,519	60,188

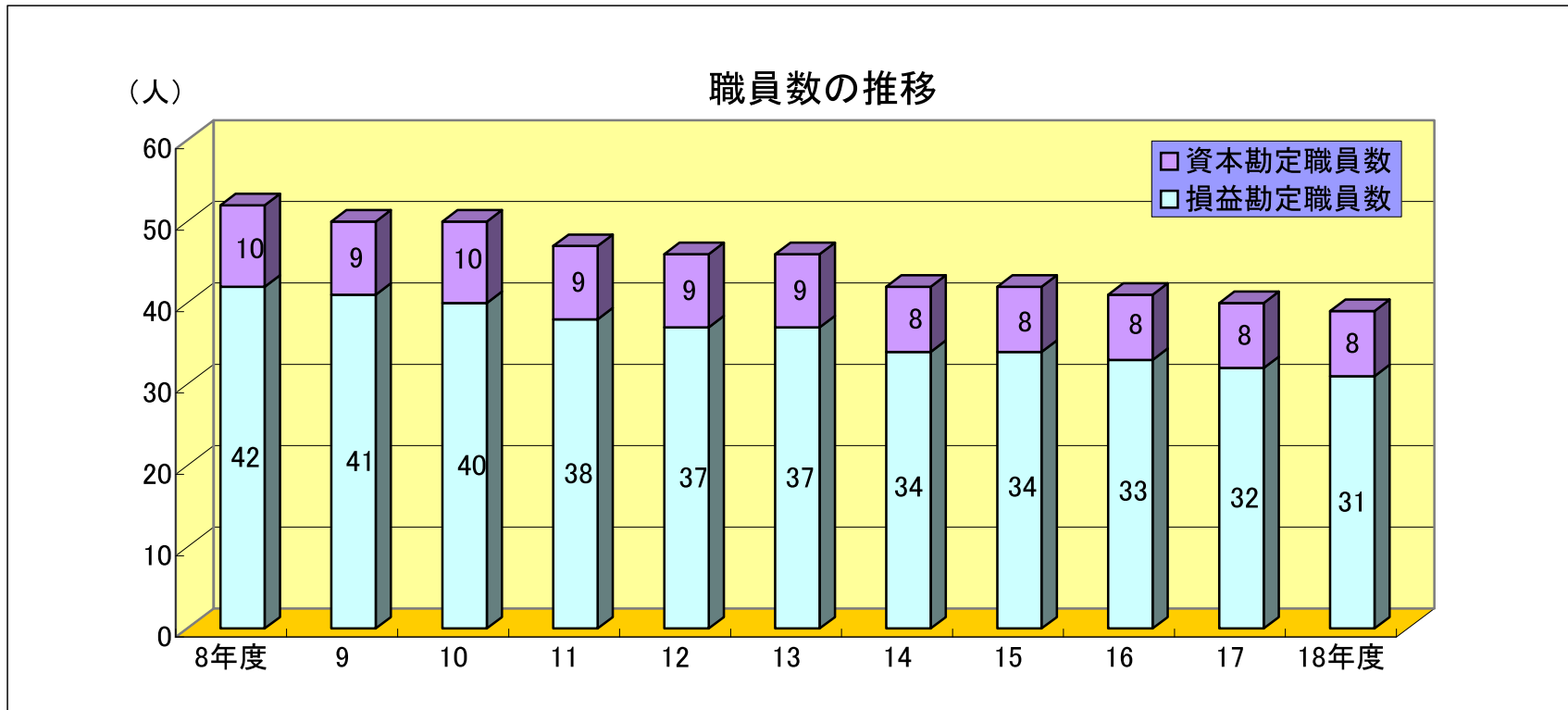
給水契約数(φ 13・φ 20)の推移



■ 職員数 ■

● 職員数の推移 ●

水道部では事業効率化のため、人件費の抑制に努めています。



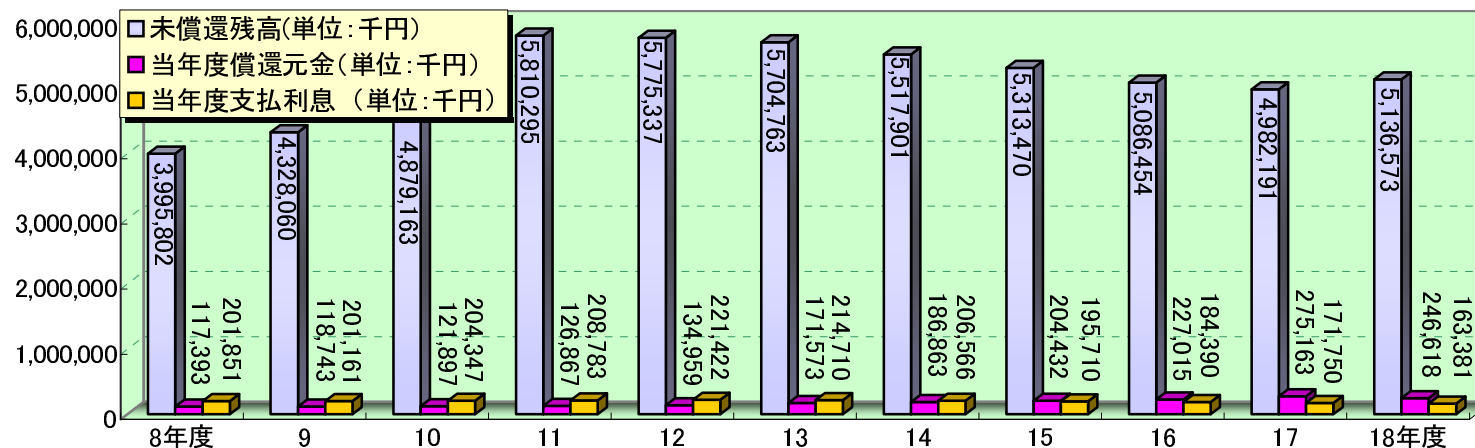
※ 水道事業管理者を除く。

■ 企業債(借入資金) ■

● 企業債(借入資金)とは… ●

水道施設(配水場や浄水場)を新たに建設したり、配水管を布設するなどの建設改良事業に要する資金に充てるために借りるお金のことをいいます。

企業債(借入資金)の推移



● 未償還残高とは… ●

年度末において、まだ返済していない借入金の合計残高のことをいいます。

● 当年度償還元金とは… ●

その年度に返済した元金のことをいいます。

● 当年度支払利息とは… ●

その年度に支払った借入金の利息のことをいいます。

■ 損益計算書 ■

● 損益計算書とは・・・●

一定期間における企業の経営成績を明らかにするための報告書のことをいいます。

平成18年度入間市水道事業損益計算書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
	(1) 給水収益	2,707,487,330		
	(2) その他の営業収益	230,893,976	2,938,381,306	
2	営業費用			
	(1) 原水及び浄水費	26,112,832		
	(2) 配水費	1,545,237,420		
	(3) 給水費	106,511,044		
	(4) 委員会費	196,953		
	(5) 業務費	129,373,996		
	(6) 総係費	107,750,095		
	(7) 減価償却費	614,746,716		
	(8) 資産減耗費	67,900,398	2,597,829,454	
	営業利益			340,551,852
3	営業外収益			
	(1) 受取利息	2,149,164		
	(2) 補助金	246,000		
	(3) 雑収益	6,850,616	9,245,780	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	163,380,625		
	(2) 雑支出	2,447,892	165,828,517	-156,582,737
	経常利益			183,969,115
5	特別利益			

	(1) 固定資産売却益	45,746,000	45,746,000	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	2,323,427	2,323,427	43,422,573
	当年度純利益			227,391,688
	前年度繰越利益剰余金			597,170,857
	当年度未処分利益剰余金			824,562,545

■ 貸借対照表 ■

● 貸借対照表とは・・・ ●

一定時点における企業の財政状態を明らかにするための報告書のことをいいます。

平成18年度入間市水道事業貸借対照表

(平成19年3月31日)

(単位 円)

資	産	の	部	
1	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	イ	土地		1,438,159,637
	ロ	建物	1,665,881,307	
		減価償却累計額	474,487,620	1,191,393,687
	ハ	構築物	23,071,730,191	
		減価償却累計額	6,914,810,227	16,156,919,964
	ニ	機械及び装置	4,273,464,999	
		減価償却累計額	1,960,174,514	2,313,290,485
	ホ	車両運搬具	26,305,000	
		減価償却累計額	21,654,821	4,650,179
	ヘ	工具器具及び備品	73,584,285	
		減価償却累計額	33,229,989	40,354,296
	ト	建設仮勘定		87,478,579

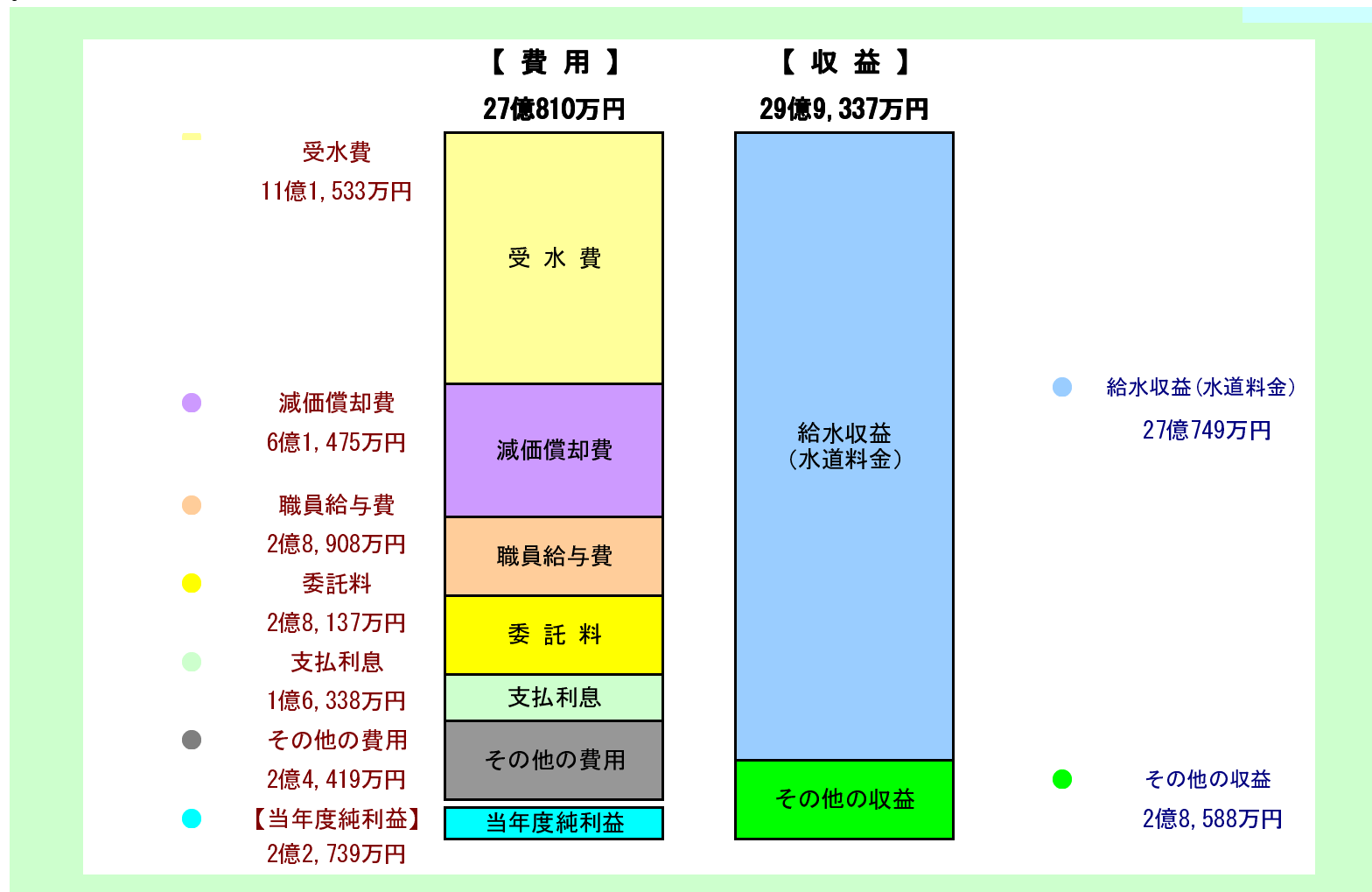
	有形固定資産合計		21,232,246,827	
(2)	無形固定資産			
イ	電話加入権	527,686		
	無形固定資産合計		527,686	
	固定資産合計			21,232,774,513
2	流動資産			
(1)	現金預金		2,772,415,095	
(2)	未収金		134,618,222	
(3)	有価証券		99,910,000	
(4)	貯蔵品		29,607,512	
(5)	前払金		74,000,000	
(6)	その他の流動資産		400,000	
	流動資産合計			3,110,950,829
	資産合計			24,343,725,342
負	債	の	部	
3	固定負債			
(1)	引当金			
イ	修繕引当金		95,021,264	
	固定負債合計			95,021,264
4	流動負債			
(1)	未払金		747,698,901	
(2)	預り金		110,229,771	
	流動負債合計			857,928,672
	負債合計			952,949,936
資	本	の	部	
5	資本金			
(1)	自己資本金		2,554,882,692	
(2)	借入資本金			
イ	企業債	5,136,572,920		
	借入資本金合計		5,136,572,920	

	資本金合計		7,691,455,612
6	剰余金		
	(1) 資本剰余金		
	イ 受贈財産評価額	1,354,787,179	
	ロ 寄附金	2,200,370,950	
	ハ 浄水分与補償金	1,980,000	
	ニ 工事負担金	200,235,153	
	ホ 他会計負担金	5,315,314,701	
	ヘ 水道利用加入金	5,253,695,931	
	ト 国庫補助金	308,373,335	
	資本剰余金合計		14,634,757,249
	(2) 利益剰余金		
	イ 減債積立金	240,000,000	
	ロ 当年度未処分利益剰余金	824,562,545	
	利益剰余金合計		1,064,562,545
	剰余金合計		15,699,319,794
	資本合計		23,390,775,406
	負債資本合計		24,343,725,342

■ 収益的収支の状況（損益計算に関する収支の状況）【税抜】 ■

● 収益的収支とは・・・●

収益的収支とは、予算事項のひとつである収益的収入及び支出で、水道事業の経営活動によって発生する収入とこれに対応する支出をいいます。収益的収入及び支出は、消費税込みで表示されますが、実質的な経営成績を表示するため、ここでは消費税抜きの金額である収益、費用を計上しました。

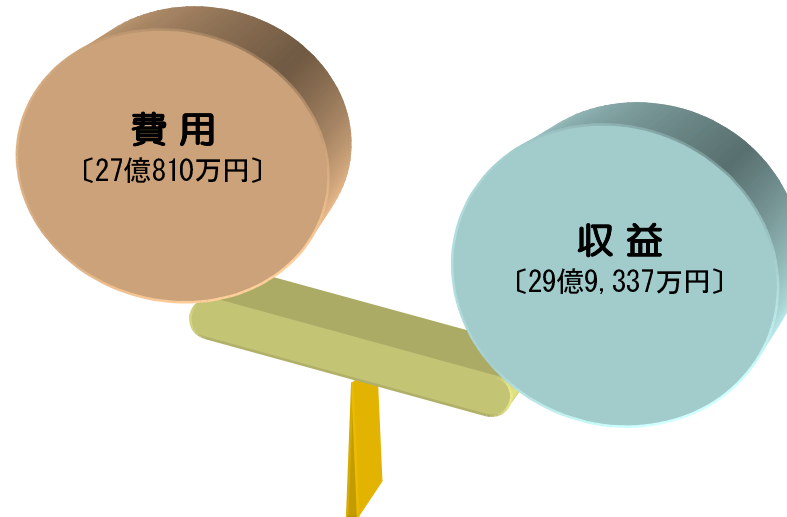


費用とは…

- ・収益を得るために必要となった支出。
- ・入間市では受水費と減価償却費の割合が高くなっています。

収益とは…

- ・水道事業の経営活動から生じる収入。
- ・水道料金の収入（給水収益）が大部分を占めています。



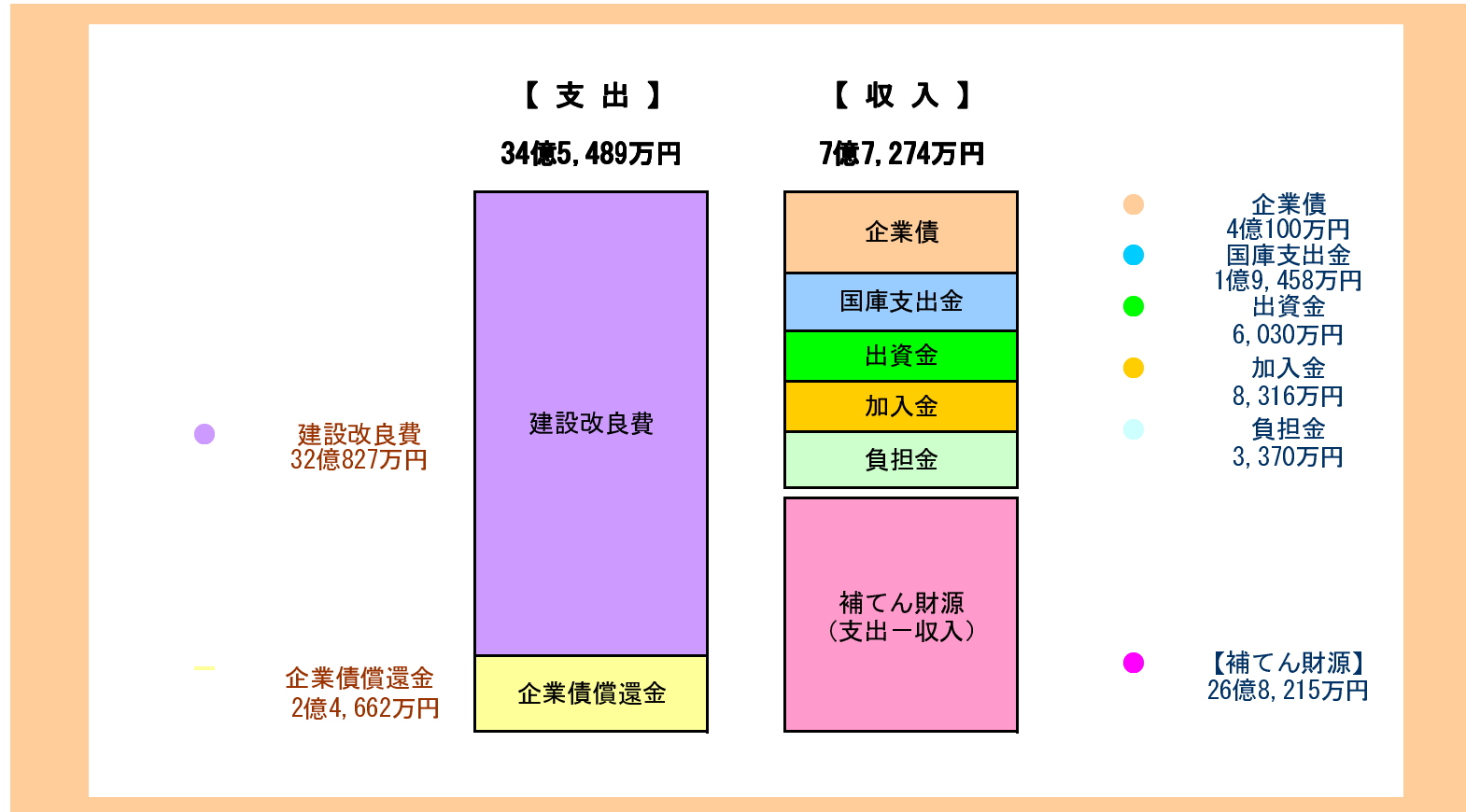
損益収支

平成18年度決算は 約2億2,739万円の黒字となりました。

■ 資本的収支の状況（建設改良に関する収支の状況）【税込】 ■

● 資本的収支とは・・・ ●

資本的収支とは、予算事項のひとつである資本的収入及び支出で、将来における経済活動に備えて行う建設改良やこの建設改良に係る企業債の償還元金等の支出と、その財源となる収入を表しています。不足する額は、内部に貯えられた資金など(補てん財源)で補われます。

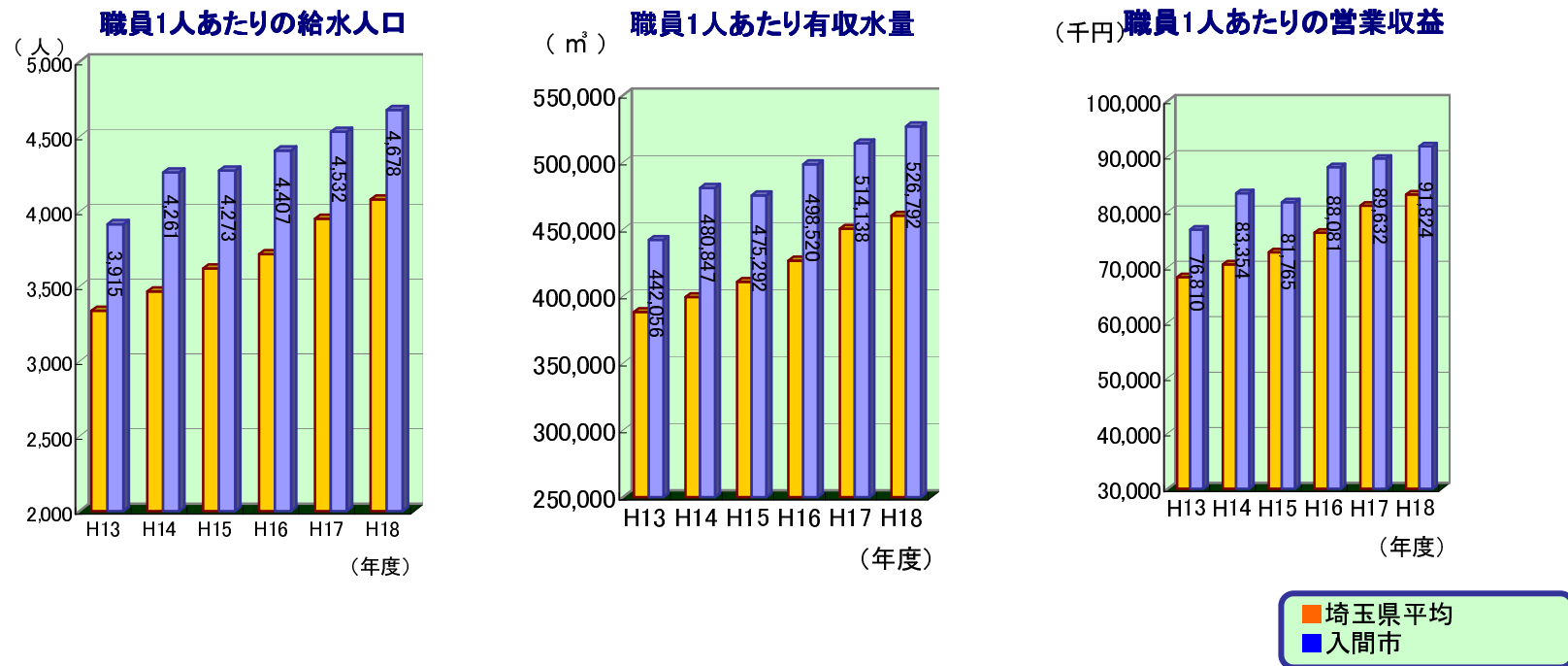


■ 職員1人あたりの生産性(埼玉県平均と比較) ■

● 入間市と埼玉県平均を比べると… ●

水道部では、事業の効率的な運営に努めておりますが、これを表す指標として、職員1人あたりの給水人口、有収水量及び営業収益をグラフ化してみました。

● 埼玉県平均と入間市の対比資料



職員1人あたりの給水人口、有収水量、営業収益(主に水道料金収入)のいずれも埼玉県平均を上回っています。このことは、職員1人あたりの生産性が高いことを表しています。

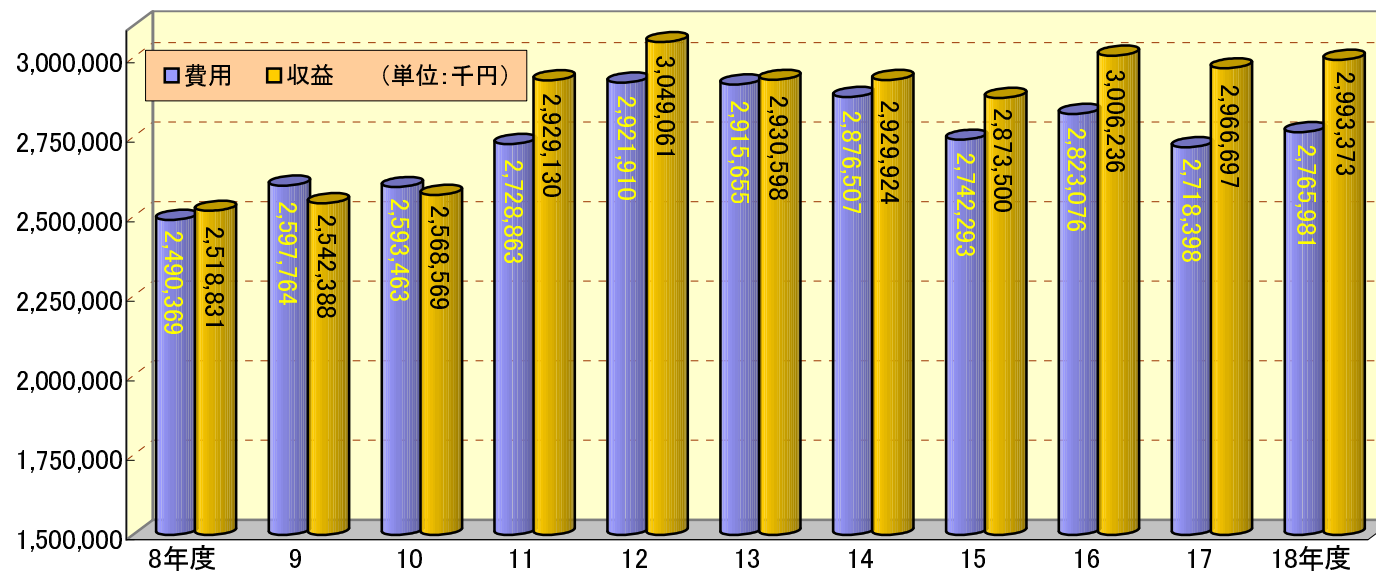
■ 収益と費用【税抜】 ■

● 収益とは・・・ ●

水道事業の経営活動から生じる収入です。

● 費用とは・・・ ●

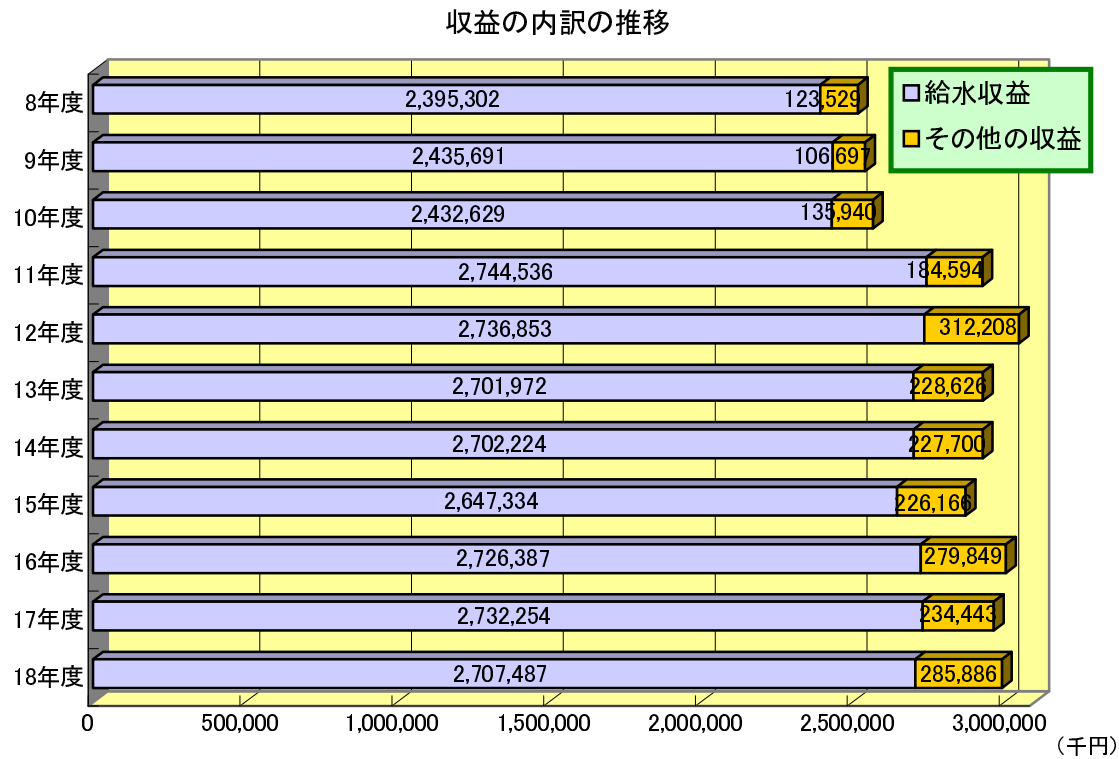
収益を得るために必要となった支出です。



■ 収益の内訳 ■

● 収益の内訳 ●

総収益に対する主な収益の構成は下のグラフのとおりです。



■ 給水収益(水道料金収入) ■

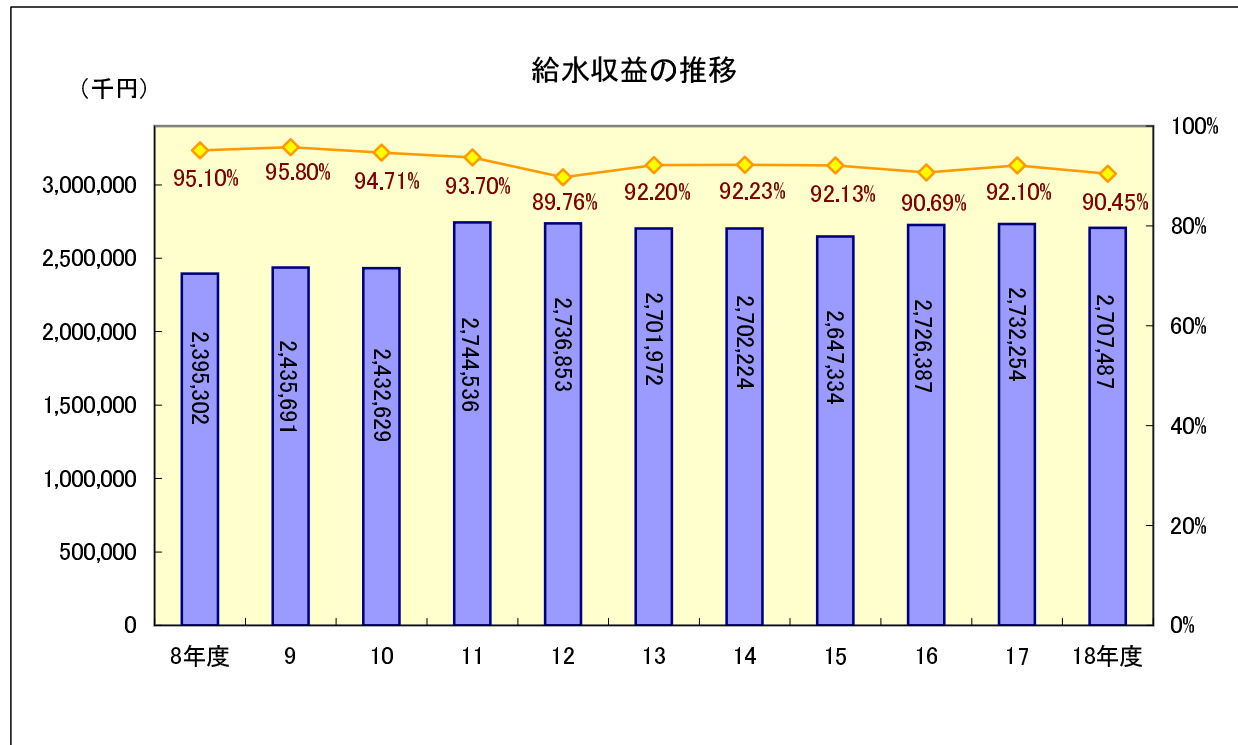
● 給水収益(水道料金収入)とは・・・ ●

給水収益とは、使用者のみなさまからお支払いただく水道料金のことをいいます。

この水道料金によって水道水を供給する施設の改良や維持のための諸経費がまかなわれ、水道事業が成り立っています。

給水収益の金額が上昇しているにもかかわらず総収益に対する給水収益の割合が下がることがありますが、これは給水収益以外の収益(主に水道利用加入金)の影響を受けているためです。

なお、比率(%)は、総収益に対する比率を表しています。



■ その他の収益 ■

● その他の収益とは・・・ ●

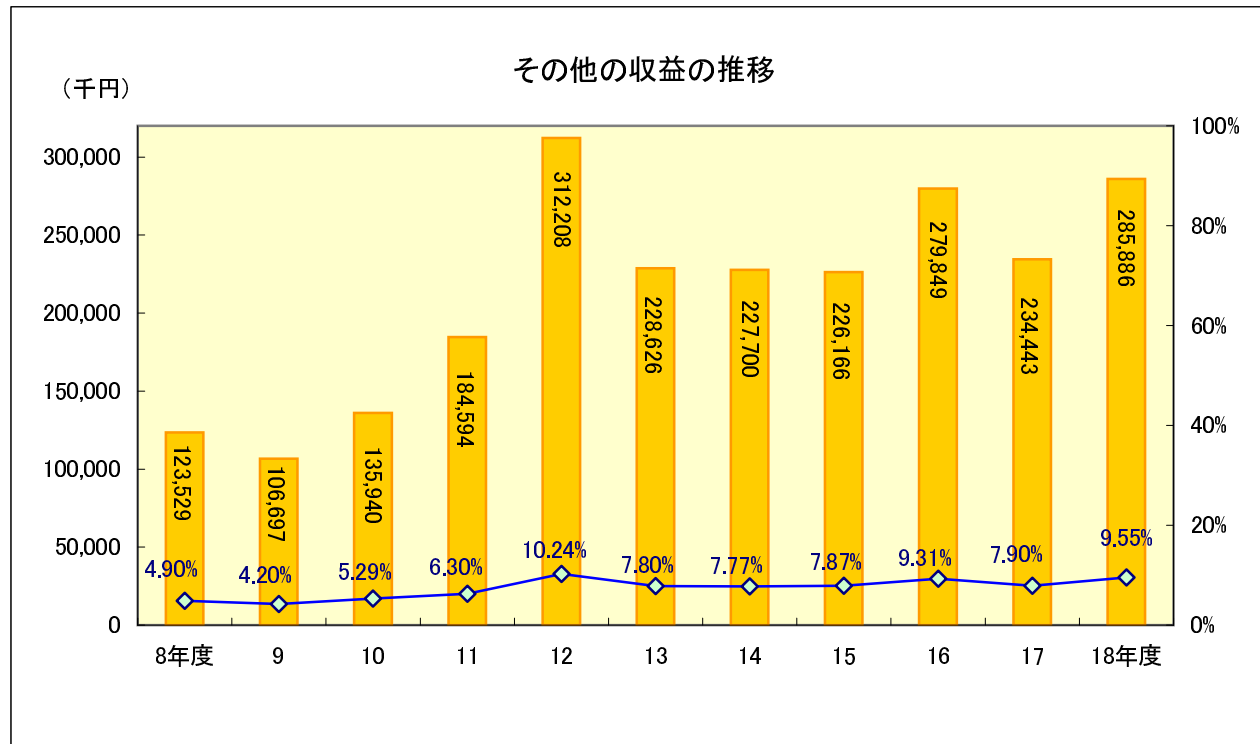
給水収益(水道料金収入)以外の収益で、水道利用加入金や手数料などがあります。

平成11年度の料金改定の際に料金の値上げ幅を小さくするため、いままで資本的収入としていた水道利用加入金の60%を収益的収入としました。

その結果、「その他の収益」が11年度から伸びています。

また、水道利用加入金は、開発の状況により大きく増減しますので、収益全体に影響があります。

なお、比率(%)は、総収益に対する比率を表しています。



■ 費用の内訳 ■

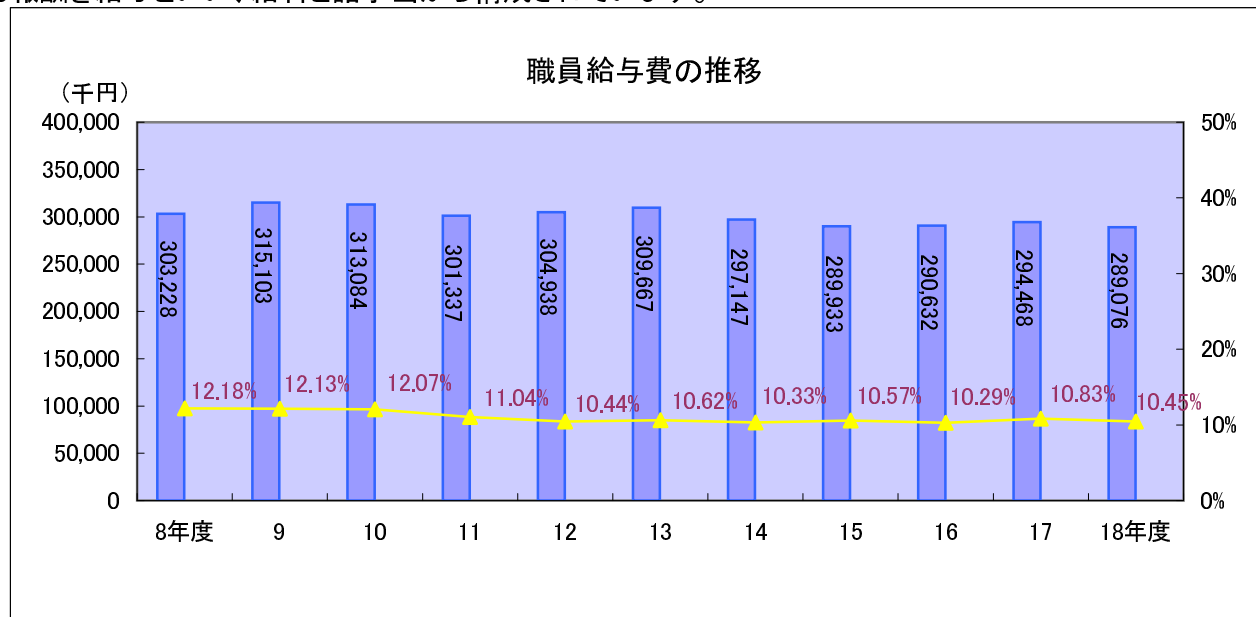
● 費用の内訳 ●

総費用に対する主な費用の構成は下のグラフのとおりです。
なお、以下、費用に関する比率(%)は、総費用に対する比率を表しています。

■ 職員給与費 ■

● 職員給与費とは・・・ ●

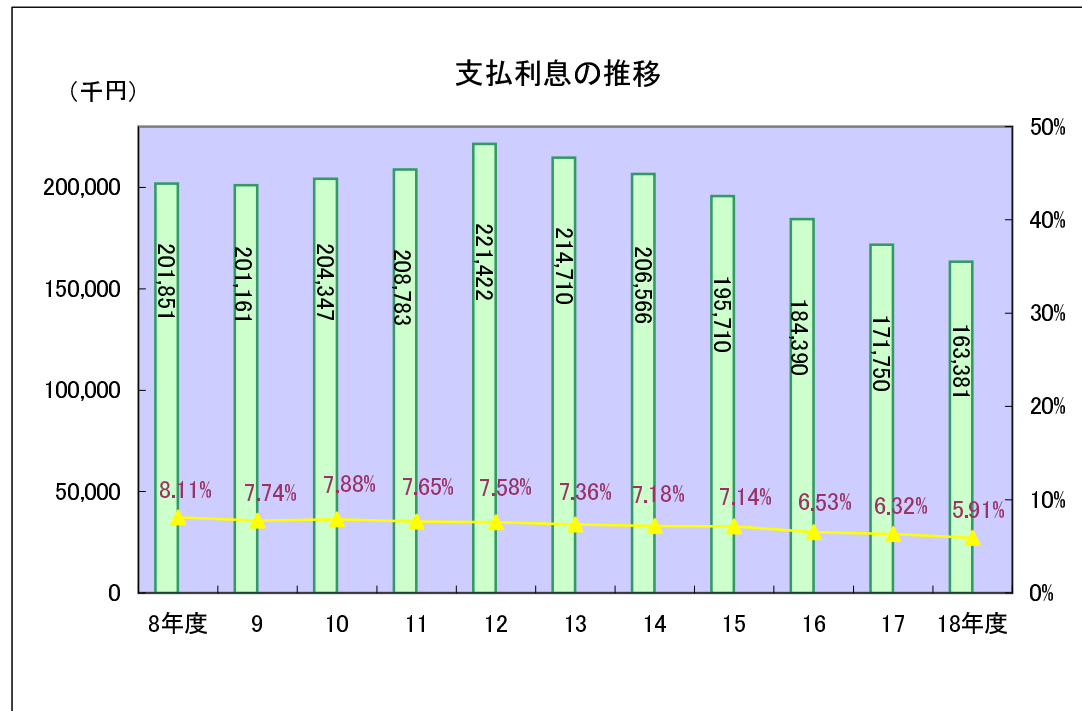
職員に支給される報酬を給与といい、給料と諸手当から構成されています。



■ 支払利息 ■

● 支払利息とは・・・ ●

企業債(借入資金)について支払う利息のことをいいます。



■ 減価償却費 ■

● 減価償却費とは… ●

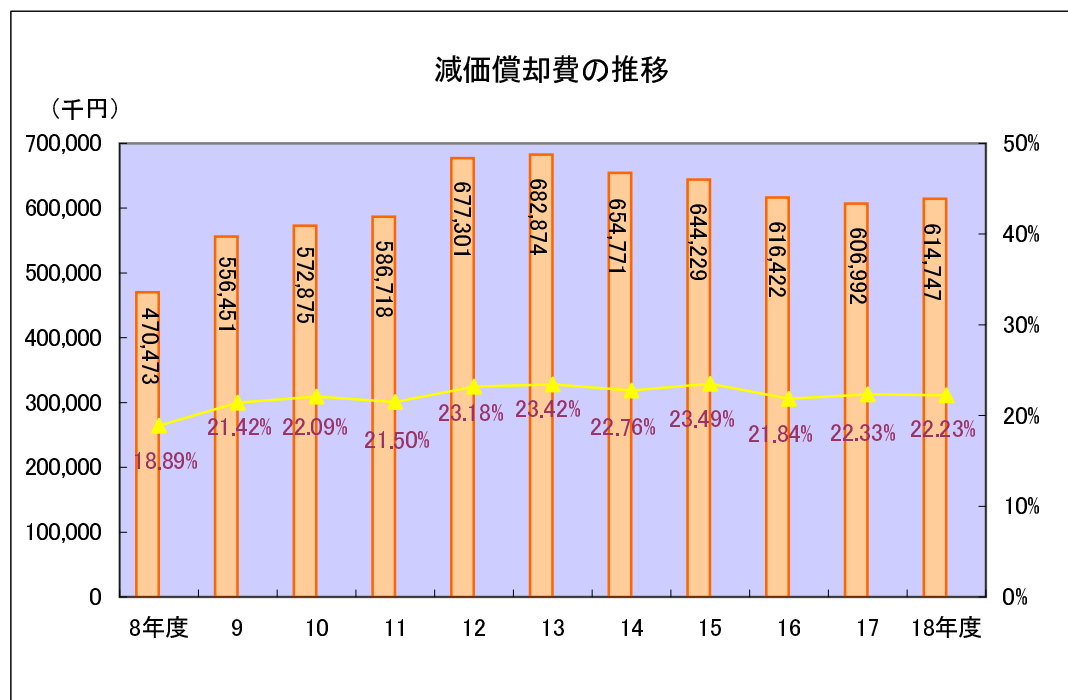
水道事業を経営するためには、配水タンクや配水管、機械設備など設備投資に莫大な費用がかかります。

減価償却費は、この水道設備等の寿命に応じて費用とするものです。

入間市は、起伏に富んだ地形のため、お客様のお宅に水を送るためには、常に機械的に水圧をかけ続けなければなりません。

このため、平坦な地形の他市町村に比べ、水道設備がより多く必要になる傾向があります。

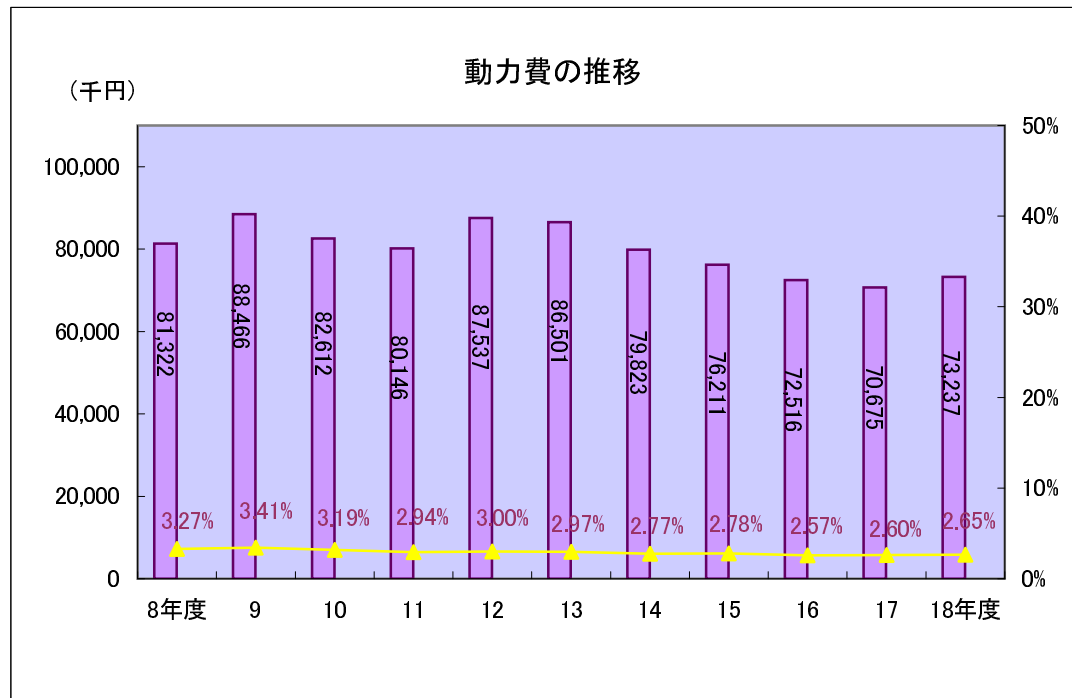
また、入間市の水道事業が、町村合併を経て、低い地域（鍵山浄水場）から次第に高い地域へ拡大普及していったことも設備投資の増大を招く大きな要因になっています。



■ 動力費 ■

● 動力費 とは … ●

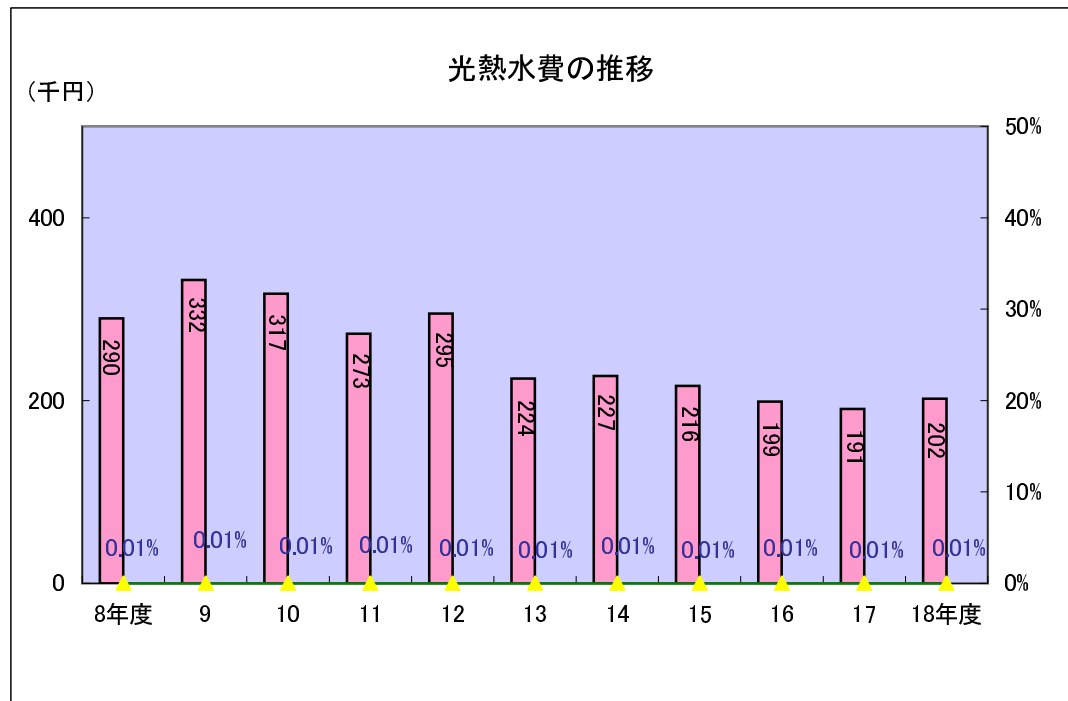
水道施設の機械装置等の運転に必要な電力料などのことをいいます。



■ 光熱水費 ■

● 光熱水費とは・・・ ●

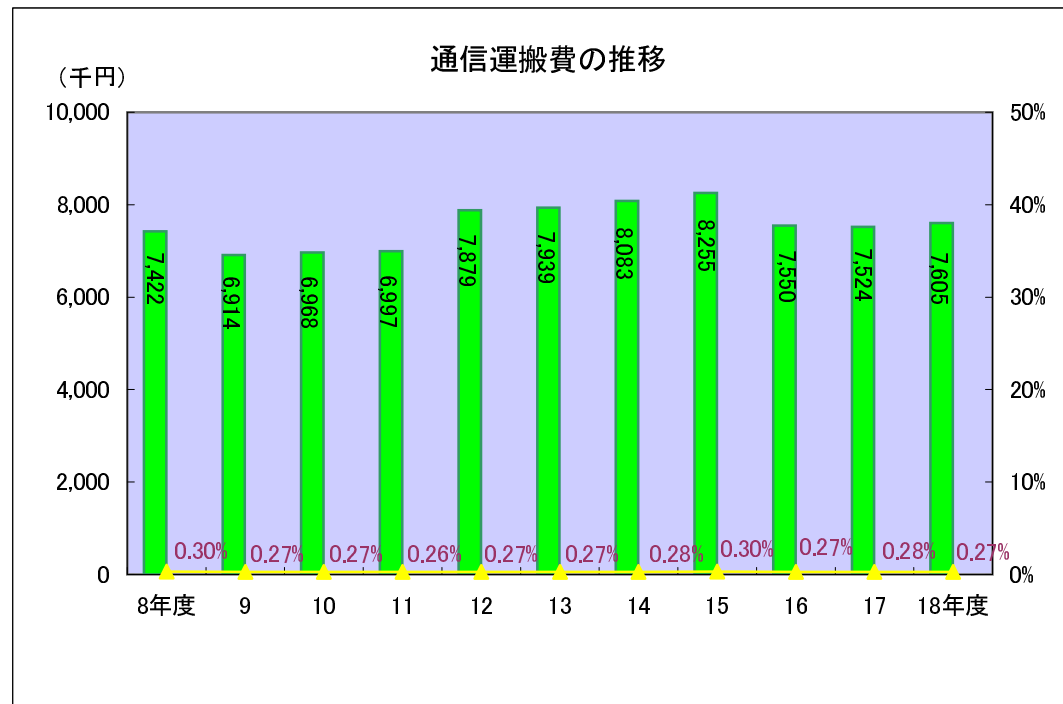
水道事業を經營するための電気使用料やガス使用料のことをいいます。



■ 通信運搬費 ■

● 通信運搬費とは・・・ ●

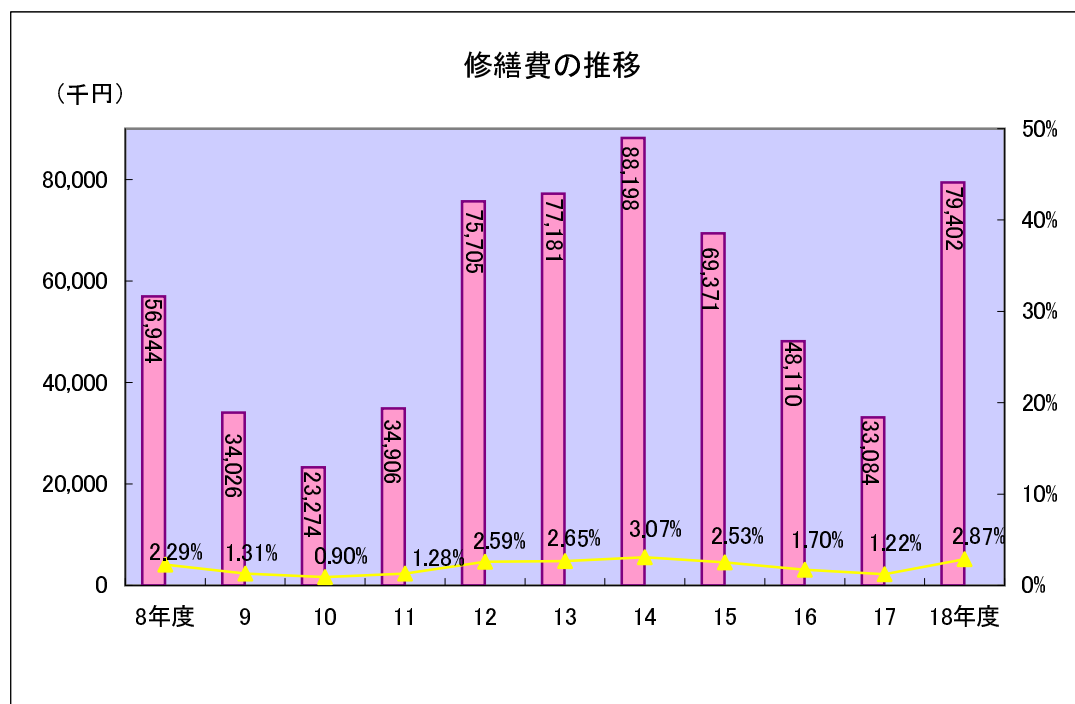
水道事業を経営するための郵便料・電信電話料・運搬料などのことをいいます。



■ 修繕費 ■

● 修繕費とは・・・ ●

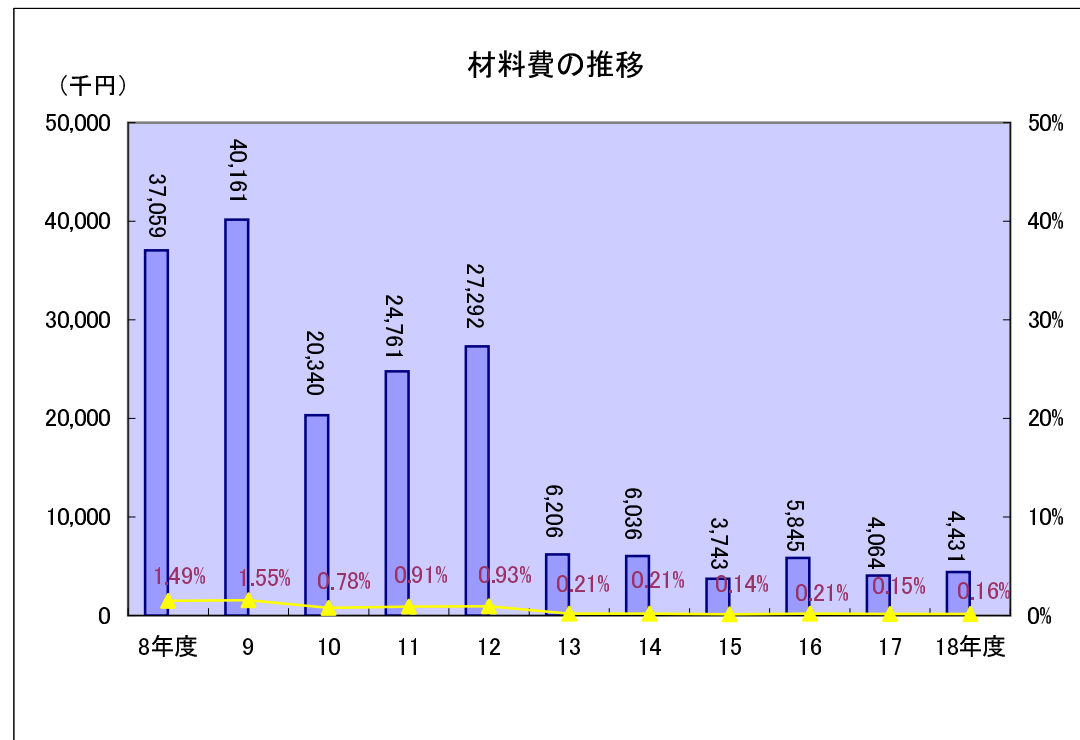
水道施設(配水タンクやポンプなど)の維持修繕に要する費用のことをいいます。



■ 材料費 ■

● 材料費とは・・・●

水道施設(配水管など)の維持及び作業に要する材料費のことをいいます。

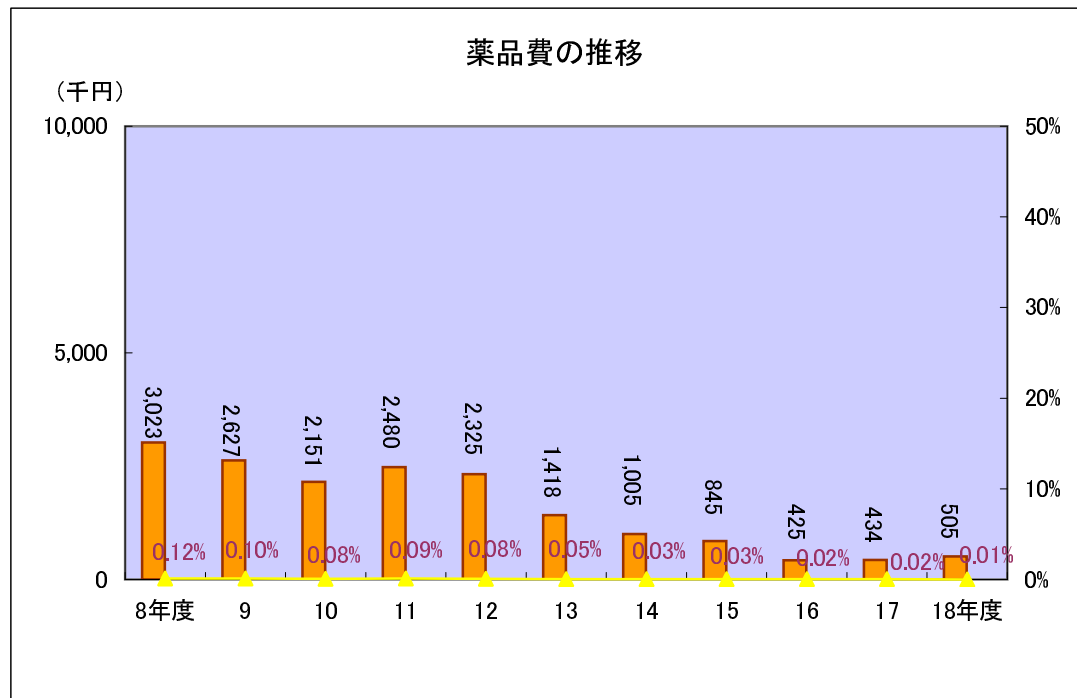


■ 薬品費 ■

● 薬品費とは・・・ ●

浄水場において川から汲み上げた水を飲料水にする行程で使用したり、配水場で安全な水をお届けするための水質管理などに要する薬品の費用のことをいいます。

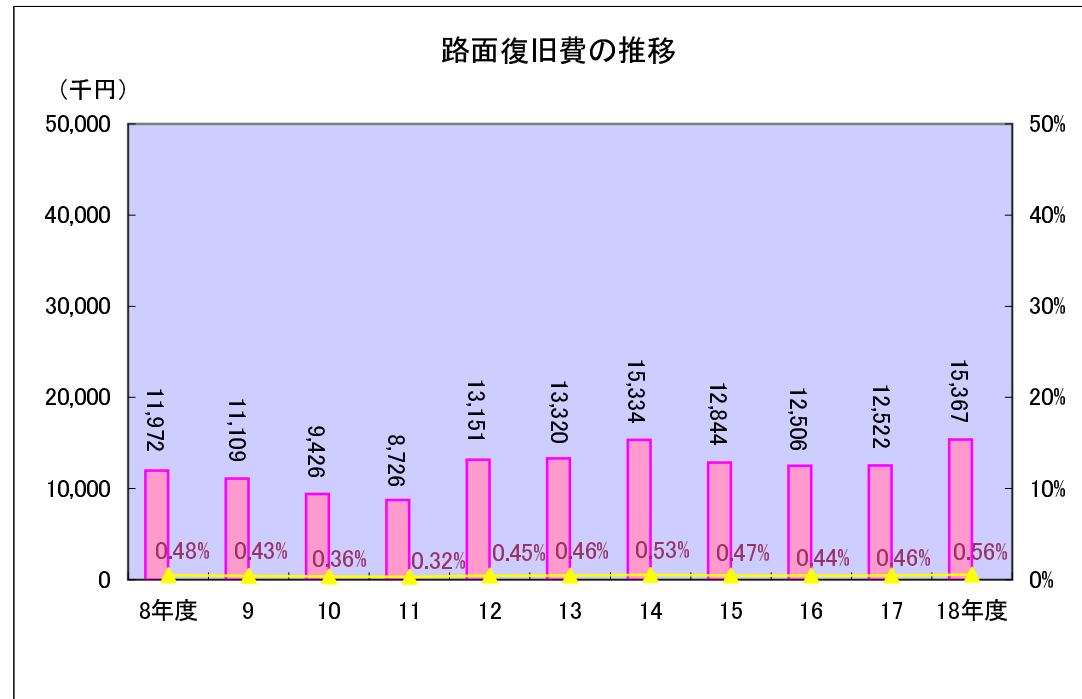
なお、16年度から18年度については、鍵山浄水場が改築中のため減少しています。



■ 路面復旧費 ■

● 路面復旧費とは・・・●

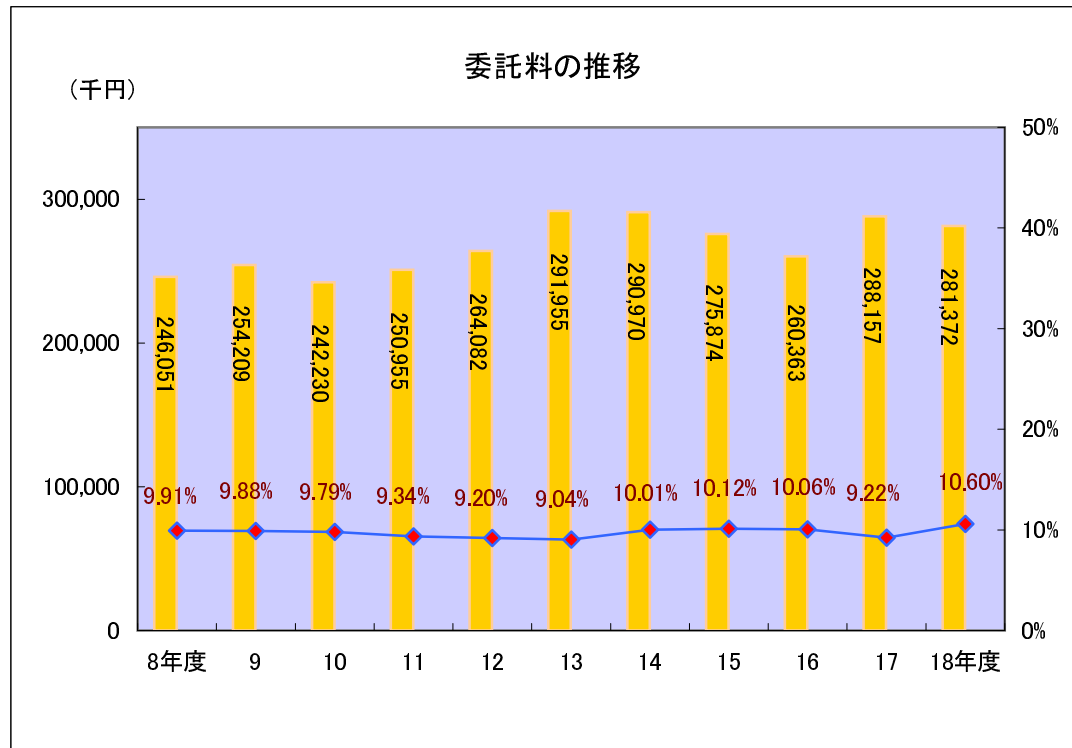
漏水修理等による道路の本復旧に要する費用のことをいいます。



■ 委託料 ■

● 委託料とは・・・ ●

水道事業を経営するための事務や業務などを直接実施せず、他の機関等に依頼し、その対価として支払う代金のことをいいます。

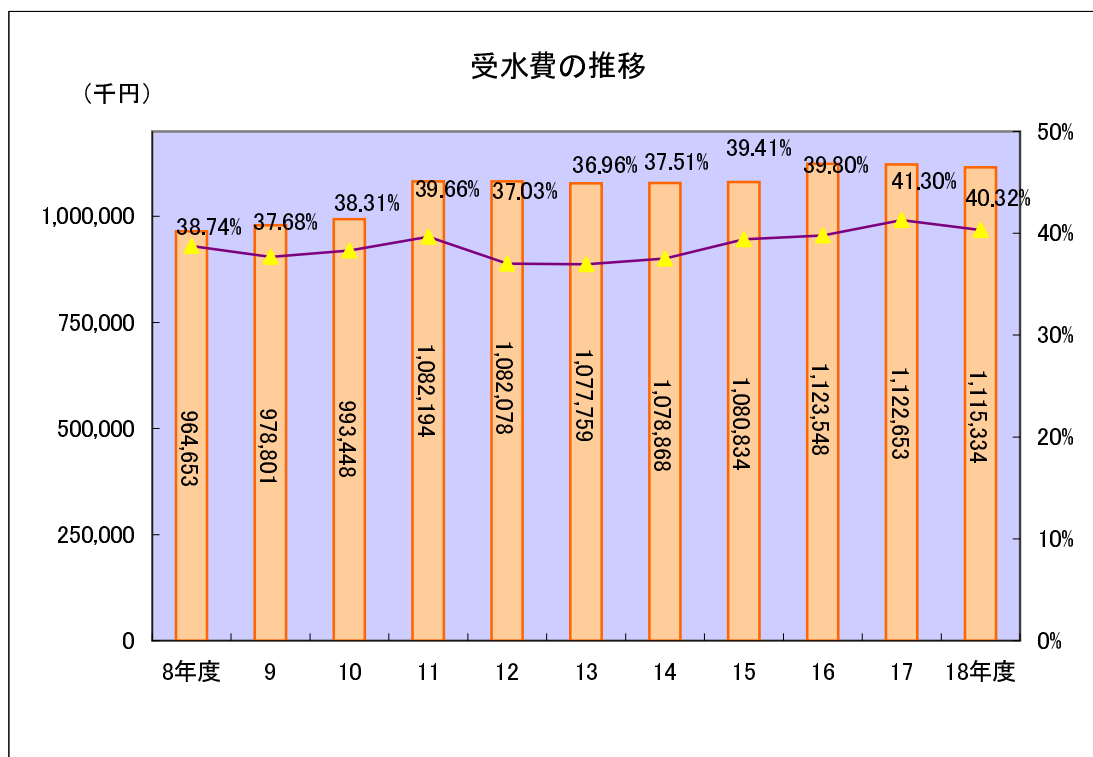


■ 受水費 ■

● 受水費とは・・・ ●

埼玉県営水道から買った水道水の代金のことをいいます。

入間市では、お客様にお届けしている水道水の大部分(90%以上)が埼玉県から買った水で占められています。他市と比べ水源が少なく、県水(埼玉県がつくる水)への依存度が高いといえます。



■ その他の費用 ■

● その他の費用とは・・・●

経常費用のうち、次の費用以外の費用のことをいいます。

職員給与費 ・ 支払利息 ・ 減価償却費 ・ 動力費 ・ 光熱水費 ・ 通信運搬費 ・ 修繕費 ・ 材料費 ・ 薬品費
路面復旧費 ・ 委託料 ・ 受水費

